

特集／地上デジタル放送
町政スポット／町議会9月定例会、暴力団排除に向け
寒河江警察署と合意書を締結 ほか
カメラさんぽ／まぼろしの左荒線街道ツアー
まちの話題／町内3保育園で最後の運動会、金婚祝賀会、
りんご新品种「秋陽」出発式 ほか

おいしい秋の味覚 今年の出来は？

原木ナメコを栽培する阿部政郎さん（立木）
（10月2日；立木地内）

広報 **あさひまち**

2009年10月号
No. 635

特集●地上デジタル放送

地デジの準備は お済みですか

すでに多くの方がご存じかとは思いますが、テレビのアナログ放送は、2011年（平成23年）7月24日に終了し、地上デジタル放送に完全移行します。

地上デジタル放送（地デジ）を受信するためには、デジタル放送対応の機器が必要です。「まだ、先だから・・・」と思っている方も、そろそろ地デジの準備を始めませんか？11月には町内3地区で地上デジタル放送準備説明会も開催されます。



まずは基本的知識 地デジ放送を見るためには

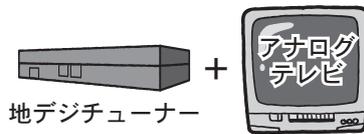
テレビには、地上デジタル放送がそのまま見られるテレビと、そうでないテレビがあります。また、アンテナの調整や交換が必要な場合もあります。それぞれのご家庭の事情にあわせてお選びください。

▼今持っているテレビで見る

アナログテレビをアナログ放送終了後もそのままお使いになる場合は、地デジチューナーや地デジチューナー内蔵の録画機器を買い足せば地上デジタル放送が見られます。

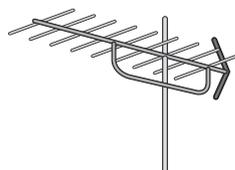
▼デジタルテレビに買い換える

地デジ対応のテレビをお買い求めになれば、ハイビジョンや便利なデータ放送などのデジタル機能をお楽しみいただけます。
※地デジ対応のテレビは、機能、性能、サイズ、価格もさまざまです。電気店等でご相談ください。なお、「地上デジタルチューナー搭載機器ロゴマーク」を確認しましょう。



UHFアンテナをご確認ください

地上デジタル放送はUHFの電波を使って放送されますのでUHFアンテナが必要です。
また、地上デジタル放送波は周囲の地形や建物などの影響により弱くなることもあるため、設置場所の電波の状態に応じたアンテナが必要です。詳しくは電気店・家電量販店へお問合せください。



新たな「難視聴地域」が心配されています

「地デジ受信確認のため地デジチューナーを一時貸し出します」

地デジ放送の電波は反射・屈折しにくい性質をもっています。そのため、アナログ電波は何とか受信できていても、地デジの電波は受信できないという、新たな問題の発生が心配されています。町では、各ご



ご利用ください 各種サポート事業

■地上デジタル放送準備説明会

総務省では、地上デジタル放送を楽しむための説明会を次のとおり開催します。放送の目的や魅力、受信方法などについて分かりやすく説明しますので、皆様のご来場をお待ちしています。

説明会場	開催日	開始時刻	定員
西部公民館	11月25日(水)	10:30~	70
		13:30~	
開発センター	11月26日(木)	10:30~	70
		13:30~	
秋葉山交遊館	11月27日(金)	10:30~	70
		13:30~	

■地デジ戸別訪問

65歳以上の高齢者のみの世帯で事前にお申込みいただいた方には、デジサポ山形（山形県テレビ受信者支援センター）の説明員がご自宅に訪問して説明します。

▼デジサポ山形説明会事務局 ☎ 023-647-2283

▼政策推進課地域情報係 ☎ 67-2112

■チューナーの無償給付

経済的な理由で、地上デジタル放送がご覧になれない世帯については、簡易な地上デジタル放送対応のチューナー無償給付する支援があります。

NHKと受信契約を結んでおり、放送受信料の全額免除を受けている方が対象となります。今年度の受付は12月28日までですので、手続き等詳細はお問合わせください。

▼総務省地デジチューナー支援実施センター

☎ 0570-033840 または 044-969-5425

▼NHK視聴者コールセンター

☎ 0570-000588 または 044-871-8441

▼健康福祉課福祉係 ☎ 67-2156

現在「見ているが不具合がある」場合

地デジを受信しているものの、天候など場合によっては「見えにくくなる」「混信する」など受信

家庭で地デジ放送が実際に見られるかどうか確認していただくために、地デジチューナーを一時的に無料で貸し出しています。詳しくは、役場政策推進課（☎67-2112）までご連絡ください。

状態が悪い場合は、デジサポ山形（山形県テレビ受信者支援センター）が訪問対応し、受信方法の助言などを行っています。お気軽にご相談ください（連絡先は左記参照）。

■地上デジタル放送全般・チューナー等の給付支援に関する相談・問合わせ
▼総務省 地デジコールセンター
0570-070101
平日：午前9時～午後9時
土曜・日曜・祝日：午前9時～午後6時

地デジ放送は

きれいに映るか
全く映らないか

どちらかです

どうぞお早目の対応を

今ならもらえる「エコポイント」 上手に活用し商品と交換しよう (平成21年3月31日購入分の商品までが対象です)

省エネ家電の購入促進策として、政府が平成21年度補正予算において2,900億円の事業費を計上した「エコポイント制度」が5月からスタートしています。

これは、省エネ性能を5つ星で表した「統一省エネラベル」で4つ星以上を満たしたエアコン、冷蔵庫、地デジ対応テレビを購入すると、販売価格の5～10%程度がポイントとして還元されるという制度です。

ポイントはおよそ、「1点あたり1円」の価値があり、商品券・プリペイドカード、全国各地の特産品など様々な商品と交換できます。カタログを見て交換したい商品を確認し、郵送やインターネットで申請。後日商品を受け取ります。

■グリーン家電普及促進事業エコポイント事務局 <http://eco-points.jp>

地デジ対応テレビのエコポイント数

46型以上	36,000点
42型・40型	23,000点
37型	17,000点
32型・26型	12,000点
26型未満	7,000点

※購入時に手持ちの製品をリサイクルに出すとさらに3,000点を加算

9月定例議会

9月3日から9日まで7日間の日程で町議会9月定例会が開催されました。

主な議案としては、平成21年度一般会計及び特別会計の補正予算、平成20年度一般会計及び特別会計の決算、その他子育て支援拠点施設で使用する備品（木製品）に関する財産の取得など17議案が審議され、全議案が認定・可決されました。

また、朝日町木材製品利用住宅建築奨励金について、交付対象の拡大と交付限度額の引き上げを求める請願書も提出され、採択されています。



町政報告

■特色ある元気な地域づくりを支援

地域提案型交付金事業については、各区より総額で約913万円の申請があり、協働のまちづくり推進協議会で審査の結果、約911万円の交付決定を行った。また志藤六郎村おこし基金補助事業は、6件の申請があり、運営委員会による審査の結果、6件203万円の補助金交付を決定した。

■個人町民税の当初賦課額

約2億179万円で前年

比約1509万円の減。今年度の課税総所得金額は、景気低迷と所得の伸び悩み等の要因により全体で、前年比5%の減となっている。

■長寿者に賀詞と記念品を贈呈

今年の該当者は白寿(99歳)が3人、百歳が5人。白寿の方には県知事より、また、百歳を迎えられる方には、内閣総理大臣より賀詞と記念品が贈られる。9月1日現在で満百歳以上の方は7人(男1人、女6人)。最高齢者は明治40年生まれで満101歳の方

■夏季の低温・日照不足の影響は？

水稻に葉いもち病が若干出たことから、8月に行った2回目の航空防除において対策を行った。

果樹全般の生育は概ね順調で、基幹作物であるりんごについても昨年度と同様の8月20日からつがるが出荷された。

また、強い農業づくり交付金で整備した新しい選果機械も、つがるの選果から稼働。今後更なる有利販売に向け大いに期待している。

■3日で完売 プレミアムつきお買い物券

中元商戦に向けたプレミアムお買物券の発売状況については、プレミアムのお得感が広く町民に浸透してきたことにより、今年はずか3日間で予定の450組が完売となった。

■耕作放棄地を調査

国からの要請により、今年度全国の市町村で一斉に耕作放棄地の実態調査に取り組んでいる。当町においても、農業委員、農事実行組合長の方々の協力を得て

7月と8月の2カ月間で全地区ほぼ調査を終えた。今後、調査結果を基に、耕作放棄地の解消に向けた所有者の意向調査を行い、併せて再生可能な農地を元の耕作でできる農地に戻す取組を町と関係団体が連携を図りながら計画的に実施する予定。

■「町民プール」利用状況

今年度は7月18日から8月16日までの30日間開放した期間中の利用者数は、1678人(中学生以下1296人、高校生以上382人)で、対前年比で89・5%

%。事故もなく安全に運営することができたが、雨などが多く、比較的冷夏だったことが影響したと思われる。

■12月の設立に向け準備

12月の設立総会に向け4月より5回の設立準備委員会を開催し準備を進めている。7月1日に「朝日町総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会」第2号を通じて名称募集を行った結果、応募25点の中から、「朝日ふれあいスポーツクラブ」に決定した。

■金員 100,000円

ふるさと納税として
京都市左京区 田中照子 様より

■金員 10,000円

まちづくり寄付金として
社寒河江青年会議所 様より



■卓球台7台、補給ネット1基、カウンター5枚 (740,000円相当)

町体育の振興のため 朝日中卓球部父母の会 (阿部為吉会長) 様より



寄付採納報告

善意に感謝申し上げます

山岳遭難事故捜索活動に尽力 花山忠夫さんに寒河江警察署長より感謝状

朝日山岳会会長で山形県自然公園管理員も務める花山忠夫さん（栄町）にこのほど寒河江警察署長より感謝状が贈られました。

花山さんは、昨年12月埼玉県男性が朝日岳ガンガラ沢付近に滑落し行方不明となり、9月1日に遺体が収容された事故で、案内役として3度同行したほか、自然公園管理員としての業務で登山道を巡視する際、滑落現場の状況



同署に随時報告するなど多方面にわたり捜査に協力されました。9月17日に同署で感謝状の贈呈を受けた花山さんは「事故現場は、自然公園管理員として自分が担当する地域であり、登山の際は状況を報告させていただきました。時間がかかりましたが遺体を収容できて安心しました。捜査の役に立つことができうれしく思います」と語っていました。

暴力団員の町営住宅使用制限に関する 合意書を締結

暴力団員の町営住宅等の使用制限に関する合意書を寒河江警察署長と締結するため、9月17日役場町長室でその調印式が行われました。

平成19年に発生した「東京都営住宅における暴力団員けん銃発砲立てこもり事件」を契機として、入居者が安全安心に生活できるように、近年多くの自治体で、公営住宅からの暴力団員排除に向けた取り組みが推進されています。町では、現在80戸の町営住宅を管理しており、町営住宅条例等に暴力団員の使用制限を盛り込むための条例の改正を行い4月から施行しています。



今回の合意書は、この使用制限を徹底するため、町営住宅等の暴力団対策の連絡協力体制について、寒河江警察署長と締結するもので、寒河江署管内では昨年の寒河江市に続いて2番目となります。

『朝日町ブランド』

十月八日、早朝六時、日本最大の青果物の取扱量を誇る東京都の大田市場で、りんご「シナノスイート」の今年の初出荷でのトップセールスを行いました。夜も明けやらぬ市場の中は、大勢の市場関係者や仲買人の人たちが、競りの声も威勢よく活気に満ちていました。そのようなか、わが朝日町産「シナノスイート」の今年の売り上げを占む初値に注目が集まりました。

平成九年りんご価格の暴落の後、りんご生産地にとっては厳しい時代が続いています。そんな中、平成八年から一部生産者の方の試験導入に始まり、この厳しい環境の中、立ち上がったのがこの品種の栽培生産でありました。生産者の方々の「何とかしたい」という強い意気込みと、生産者、農協、町が一体になって取り組んで来た中、生種の有力品種がこのりんごでした。心力がでるなど様々な課題を克服して、この品種に賭ける熱意と先見性が、着実に実を結び、約十年の努力の成果が一億

朝日町の人々の心そのものが信用を 呼び「朝日町ブランド」を形成する

りんごの品種に成長を遂げてきたのです。何もしないでただ手をこまねいていれば、そこからは何も生まれません。課題を克服しようとする、絶え間ない「努力」と「熱意」が、一億円品種への飛躍につながったのではないかと思います。朝日町にりんごが入植されて以来百二十年余の時が経過しています。その間、多くの先人のたゆまざる努力が、その後綿々と今日まで引き継がれ、その賜物として「朝日町

んご」のブランドが形作られて来たのではないのでしょうか。

「無袋ふじ」から「シナノスイート」そして「秋陽」「ファーストレディ」へと、伝統を基として受け継がれてきた、心のもった前向きな取り組み。そこにある朝日町の人々の心そのものが、人々の共感を呼び、ひいては「朝日町」と名の付く全てのものが信用を得ていく。そのことが「朝日町ブランド」となっていくのではないかと思います。

朝日町長 鈴木浩幸

700人超の町出身名簿が完成

ご協力ありがとうございました

町民の皆様にご協力いただきました、首都圏（東京都・千葉県・埼玉県・神奈川県等）や仙台市に在住されている朝日町出身者の名簿が、この程まとまりました。お陰様で700人を超える名簿となりました。今後は、まちづくりや観光等の案内を差し上げるなど、町活性化のために有効に活用させていただく予定です。ご協力ありがとうございました。

レトロバスで

悲願の左荒線 ついに開通

山形初のレトロバス「イザベラ れとろん」

英国初代アスキス社製の1920年台の名車である「The MASCOT」を手作りで復元したモデル。名前は英国出身の旅行家「イザベラ・バード」にあやかっています

まぼろしの「左荒線」とは？

「左荒線」とは、JR左沢線左沢駅と山形鉄道フラワー長井線荒砥駅との区間に計画された鉄道のことです。

この路線は当初大正時代に計画されたものですが、度重なる不運に見舞われ、その都度工事が延期されました。1937年（昭和12年）には本測量が行われ、1940年完成と閣議決定しましたが、第2次世界大戦により事業が中止され、計画自体も暗礁に乗り上げてしまいました。

戦後も強固に運動を展開し、1974年（昭和49年）には、村山・置賜地区の関係5市6町と議会で「国鉄内陸循環線（左荒線）促進期成同盟会」を結成しましたが、昭和62年4月の国鉄分社民営化や、平成4年7月の山形新幹線開業に伴い、情勢は大きく変化。内陸循環鉄道（左荒線）の実現は、極めて難しい状況になり、平成8年8月の総会をもって同会の解散を決定したのでした。



ローカル線とレトロバス「れとろん」で行く

まぼろしの左荒線

街道ツアー

最上川流域の中でも特に景観の優れた「五百川峡谷」が広がる3町をもつて、昨年6月設立された「白鷹・朝日・大江広域観光推進協議会」。昨年の「最上川シンポジウム」に続く第2弾として「まぼろしの左荒線街道ツアー」が現在同協議会主催により開催されています。

今回の企画は、大正時代に敷設が計画された「左荒線」をテーマに、その沿線地域の観光スポットを長井市のタクシー会社が所有するレトロバス「れとろん」でめぐるとなっています。1回あたり8人を定員に、10月3日から11月15日までの週末に7回運行が計画され、9月16日から申込受付を開始しました。3000円とお得な料金設定や、多くの新聞誌面等で紹介されたこともあり、山形市、仙台市方面などから予約が殺到。3日ほどですべて満席となり、定員の2倍ほどのキャンセル待ちがいくほどの盛況ぶりです。

最初の運行となった10月3日にはJR左沢駅前協議会役員を務める3町の町長、そして案内ボランティアから関係者の手でテープカットが行われ、にぎやかに参加者の出発を見送りました。



山形県内4件のうち左荒線街道に3件 (社)土木学会選奨土木遺産

選奨土木遺産とは、後世に残すべき土木構造物の保存を目指し、社団法人土木学会（東京都）が2000年（平成12年）に創設した認定制度。①歴史文化、社会的価値、②建造時の土木技術の高さ、③まちづくりへの活用可能性などを評価基準とし、昨年度までに全国で160件が認定され、山形県内では4件のうち3件が左荒線街道沿いの3町に1件ずつ存在しています。



最上川橋梁（通称：荒砥鉄橋）



旧明鏡橋



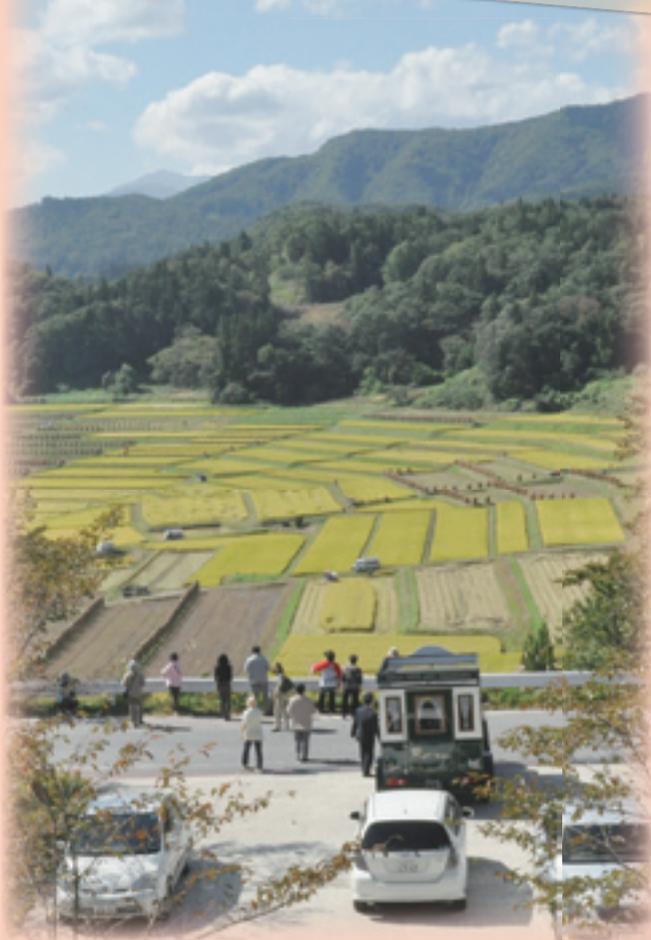
旧最上橋

見

楯山公園 (大江町左沢)



椹平の棚田 (朝日町三中)



舟道跡 (白鷹町佐野原)



最上川舟運の舟が通れるよう河床の岩盤を開削した跡が、湯水期にははっきりと確認できます

左沢



タイ焼き 林武一郎商店 (大江町左沢)

まぼろしの

食



りんご狩り
志藤修治農園
(朝日町大谷)

宮宿

銀座にある山形県アンテナショップで
人気商品ベスト10に入る あんちゃん堂の
「でか金つば」 (白鷹町十王)

ワインの試飲
朝日町ワイン城
(朝日町大谷)

左荒線街道



あゆ御膳 あゆ茶屋 (白鷹町下山)

学

荒砥



御楯稲荷 (白鷹町荒砥)
直江兼統率いる上杉軍が長谷堂を目指す際、
戦勝を祈願したと伝わっています





アユの流し網漁
(10月6日/最上川河畔)

まちの話題

ここで紹介した情報以外にも、ホームページ内「まちの写真館」には写真がいっぱい。見てね！



楽しく芋煮会
(10月12日/豊龍の丘)

町内3保育園で最後の運動会 (9月19日/各保育園)



地域の魅力を競技に取り入れる

来年4月に統合予定の「さゆり」、「ふたば」そして「わかば」の3保育園で9月19日運動会が開催されました。

各園で開催される最後の運動会とあって、それぞれ地域の特性を生かした様々な競技を実施。中でも、わかば保育園では「風のこどもの運動会」と題し、大谷の「風神祭」でおなじみのお神楽・花売り娘・田楽ちょうちん行列などが取り入れられたほか、障害物競走には、白山神社や秋葉山など北部地区の名所が組み入れられ、園児たちは自分たちが住む地域の魅力を改めて学びながら楽しく競技を行っていました。



近所の方は「今まで楽しい声が聞こえたのに、来年から聞けなくなるのはとても残念です」と寂しそうな表情を浮かべていました。また、年長組に子どもを持つある保護者は「この保育園の一期生は私の学年。自分の代に開園して子どもの代に閉園(統合)するというのも何かの縁を感じますね」と語っていました。

朝日町総合防災訓練 (10月4日/大谷地内)

参加して学ぶ防災への備え



10月4日日本年度の町総合防災訓練が大谷地区を会場に開催されました。

これは防災意識の高揚等を目的に毎年開催されているもので、同地区民のほか消防団員など約200人が参加。地震・火事など各種災害を想定した様々

な訓練のほか、心肺蘇生や応急手当の講習会も行われました。

山形県は災害の少ない地域と言われているものの、県内には4つの大きな活断層が存在しており、中でも米沢市から伸びる「長井盆地西縁断層帯」はほぼ最上川沿いに朝日町を貫いています。それだけに町内で大規模災害が発生する可能性も否定できない状況にあります。そんな有事の際に生きてくるのがこうした訓練。「備えあれば憂いなし」。皆さんも地域の防災訓練等に積極的に参加しましょう。

るもので、同地区民のほか消防団員など約200人が参加。地震・火事など各種災害を想定した様々



朝日町民登山

(10月3日～4日／朝日連峰)

360度の大パノラマを堪能

今年の「朝日町民登山」が10月3日～4日、一泊二日の日程で開催されました。

当初の計画では、3日に大朝日岳まで登頂する予定でしたが、天候不良のため予定を変更。3日は鳥原小屋に宿泊し、4日に大朝日岳をめざすコースになりました。

天候の回復を待った結果、4日には快晴の空が広がり、前日の雨によって澄んだ空気がいっそう空を青く、そして紅葉を赤や黄色に輝かせました。年間数十回にわたり入山している引率の花山忠夫朝日山岳会会長が「今年一番の天気」と認めるほどの好天に、参加者全員が足取り軽く登山を楽しみました。

また、大朝日岳山頂では直江兼続によって切り開かれたと言われる「朝日軍道」について花山会長が説明。当時の遺構が今なお残る朝日連峰を目の前にし、時代のロマンを感じながら、雲一つない360度の大パノラマを堪能しました。



金婚祝賀会 (10月6日／Asahi自然観)

50年の幸せをかみしめる

結婚50年の節目を夫婦ともに迎えられた方々を対象にした金婚祝賀会が10月6日Asahi自然観で開催され、対象39組中、34組が出席しました。

会でははじめに主催者である朝日町社会福祉協議会会長の鈴木浩幸町長が「金婚を迎えられた皆さんをはじめ、戦前・戦中・戦後の苦しい時代を生き抜いてこられた先輩方の経験と知恵は町づくりに欠かせないもの。今後も多方面でご活躍いただきたい」とあいさつ。その後金婚夫婦を代表し、安藤正義さん・美枝さん夫婦(杉山)に賀詞が贈呈されました。

ある参加者は「昔に比べれば、現在の社会は、い



くら大不況とは言え、夢のような世界。これまでの50年を振り返りながら、今の健康な自分たちがある幸せをかみしめたいですね」と語っていました。

朝日町建設総合組合「感謝ボランティア」

(10月12日／町内各所)

高齢者世帯に熟練の技能を無償提供

75歳以上の高齢者世帯に対して、大工・左官・造園・建具等、職人の技能を無償で提供する町建設総合組合(畑俊美組合長／158人)の「感謝ボランティア」が10月12日開催されました。

これは日頃仕事を受けている町民の方々への感謝と地元工務店や職人のPRなどを目的に開催されたもので、今年で3回目。今年は建具の修繕や庭木の手入れ、そして家屋の補修など、48世帯から合計105件の依頼を受け、組合員30人が持ち場ごとに作業にあたりました。

畑組合長は「今年で3回目ですが、利用者が年々増えています。組合や地元の職人を知らない人も多いので、イメージアップにつながればと考えています。希望の取りまとめをしていただいた民生委員の方々から感謝申し上げます」と語っていました。





季節毎に味わう旬の食材

10月7日と8日ふれあい荘で、芋煮と秋刀魚が提供され、入所者が秋の味覚を味わいました。

ふれあい荘では年間30回程度、季節ごとに旬の食材を利用した食事が提供されています。今回もその一環で、そのほかには、笹巻き、ウナギ、冬至カボチャなど、味覚で四季を感じ取っています。

芋煮の調理には入所者の方々も参加。調理にあたった方々は、久々ながらも自分のペースで作業し、おいしく出来上がりました。なお、来月には「刈上げ」の風習にちなんで、最も喜ばれるメニューの一つであるぼた餅が提供される予定とのことです。

西五百川小5年生が実習田の稲刈り (9月28日／松程地内)

年間を通じて稲作を学ぶ



9月28日西五百川小の実習田で稲刈り作業が行われました。

西五百川小学校では、毎年5年生が松程地区にある実習田を舞台に、田植えから稲刈りまで、稲作に関する様々なことを学習しています。



この日は同区の佐竹光喜さん、阿部富美男さん、布施栄五郎さんを講師に、およそ5アール（500㎡）の水田に植えられたもち米の稲を17人で刈り取り、その後、「杭がけ

作業」で、刈り取った稲を天日干しにしました。

古川哲兵くん（立木）は「春に田植えをしてから、これまで3回田んぼの観察をしていろいろなことを学びました。稲刈りは今回が初めてだったけど楽しかったです」と語っていました。

同校では、今回刈り取ったもち米を元に5年生の親子学年行事である「収穫祭」が行われ、親子で実りの秋を味わう予定です。

朝日中1年生がりんごの葉摘み作業 (9月15日／世界のりんご園)

3年生へ贈る「合格」りんご

朝日中学校では、1年時に町の特産品である「りんご」について学んでいます。その一環として、9月15日に1年生75人が「世界のりんご園」を訪れ、ふじの葉摘み作業を行いました。



葉摘み作業とは、日差しを遮る葉を取り除き果実の着色の手助けを行うこと。この作業によって太陽の光があたり、果実全体がまんべんなく赤に染まります。



この原理を応用してその後行われたのは、「合格」りんごのシール貼付け作業。葉摘みによって現れたまだ色のついていない部分に「合格」の文字が入ったシールが貼り付けられました。11月の収穫の時期には赤いりんごにくっきりと合格の文字が刻まれ、高校受験を控えた3年生に贈られる予定です。

りんご新品种 秋陽出発式 (9月27日/JAさがえ西村山朝日果実流通センター)



農による県統一共選が行われていますが、全生産量の約7割を朝日町産が占めていることもあり、和合地区にあるJAさがえ西村山朝日果実流通センターに県内の秋陽全てが集められています。青果市場への出荷は4年目ですが、栽培面積も拡大し、今年は昨年の2.5倍となる100トンが出荷される予定です。

育て！中生種りんごのエースに

山形県初のりんごオリジナル品種「秋陽」の出発式が9月27日JAさがえ西村山朝日果実流通センターで行われました。

「秋陽」は山形県園芸試験場で「陽光」と「千秋」を交配し誕生した山形県初のオリジナル品種。



外見は濃い赤色、実は堅めで歯触りがよく、甘味・酸味ともに濃厚な味わいが特徴。9月下旬から10月上旬に収穫される「中生種」の主力として期待されている品種です。現在はブランド確立のため、全

出荷式にはJA関係者や生産者ら約50人が出席。神事が執り行われた後、今田

正夫JA全農山形運営委員長と吉村美栄子知事があいさつ。このうち、今回公務として初めて朝日町を訪れた吉村知事は「農業が元気になることが山形県の元気につながる。秋陽には中生種りんごのエースに育ててほしい」と述べました。

このあと、関係者によるテープカットが行われ、10キロ入り箱400ケースを積んだトラックを出席者全員で見送りました。



和合りんごまつり (10月12日/旧和合小グラウンド)



和合が一つにまとまるイベント

10月12日旧和合小で「和合りんごまつり」が開催され、2,000人を越える来場者でにぎわいました。

昨年3月、132年の歴史に幕を下ろした和合小学校。学校という地域のシンボルがなくなることを嘆くばかりではなく、将来にわたって地域が一体となれるよう、地区民の方々は閉校前から様々な検討を重ねてきました。その結果出されたアイデアの一つがこのまつり。試行錯誤ながらも好評だった昨年に続いて2回目の開催です。

実りの秋を迎え現在「りんごまつ盛り」の和合地区。まつりも、豊富な種類のりんご即売や、地元の皆さんによるジャム、コンポート、スイーツなどりんごの加工品や芋煮、そして「りんごつり」「リンゴの皮むき」など充実したアトラクションなど各コーナーが設けられ、町内外の老若男女が秋の一日を満喫しました。

鈴木勝昭和合連合区長は「和合が一つにまとまり、誇りに思えるイベントになりました。地域づくりは地域自らが行う時代の今、これを今後も末永く継続させ、広く和合地区を発信していきたいですね」と語っていました。





今輝いて

高校将棋の全国大会で団体ベスト16進出

佐竹 皓宇さん

(山形東高3年 / 常盤)

山形県随一の進学校として知られる山形東高校の「囲碁・将棋部」に所属する佐竹皓宇さん（3年）。このほど全国高等学校総合文化祭将棋部門（7月30日～31日 / 三重県志摩市）に出場し、見事団体ベスト16という成績を収めました。

文化部とは言え、3年生でも部内戦を勝ち抜かない限り、大会に出場できないという実力主義の世界。佐竹さん自身も部員同士の切磋琢磨のほか、時間を見つけては定跡（※）書を読み、腕を磨いてきました。

そんな佐竹さんに将棋の魅力や今回の大会への想いなどについて伺いました。

私が本格的に将棋を始めたのは高校入学後です。きっかけは将棋部の活動を見に行ったこと。兄が同じ部に所属していたので、どんな雰囲気なのかのぞいてみようという気持ちでした。その後、何か出入りするうちに、将棋の奥深さと部の居心地の良さを感じ、自然とめり込んでいきました。将棋部の活動は基本的に平日のみ。放課後おおよそ4時から6時半頃まで定跡書を読んだり、対局で部員同士が研究し

合いながら時間を過ごします。7月の全国大会を終えて、今はずでに部活動を引退してしましますが、私の場合、現役時代は8時頃に帰宅し、食事を済ませた後、2時間くらいさらに定跡書や雑誌を読んで研究を重ねました。もちろん勉強も必要です。就寝はだいたい2時頃でした。今回、山形東は県大会8連覇を達成し、全国へコマを進めました。正直言えば、県大会よりも出場メンバーを決めるための「部内戦」を勝ち抜く方が難しかったです。将棋の団体は3人戦ですが、毎回その椅子をめぐる、静寂ながらも激しい戦いが繰り広げられます。勝負ごとですので、3年生だからと言って優先されるわけではなく、選考は完全な実力主義。現に今回のメンバーにも1年生が入っています。全国大会では都道府県の予選を勝ち抜いた47校が激突しました。私たちは予選を順調に勝ち抜き、決勝トーナメントへ進出。その後、ベスト16で対決したのが強豪・筑波大学附属駒場高校。大将には中学時代に全国大会2連覇を達成した選手を擁していました。私はそれまで全勝で勝ち進ん

できました。が、経験したことのない戦法をとる相手に苦戦し、敗戦。チームも残念ながら310のストレートで敗れてしまいました。

将棋が強い人は常に「局面全体」を見ることが出来るほか、急所を的確に突くことができる「発想力」の持ち主だと思います。「将棋は学問の糧になる」と言われることがありますが、実際どうなのかはわかりません。ただ、部活動を引退して大学受験に臨む日々を送る今も、息抜きに定跡書を読んでいます。将棋は今後も趣味として永く続けていきたいと思っています。当面の目標は、まだほとんど勝つことのできない兄に、とりあえず追いつくことですね（笑）。

※定跡（じょうせき）：将棋で、古来の研究によって、双方ともに最善とされる決まった形の指し方

なお、山形東高囲碁・将棋部には紅一点として、松田志穂さん（太郎二ノ二年）も所属しており、今回囲碁部門で、同じ全国高等学校総合文化祭に出場しています。



全国大会での戦い（右が佐竹さん）

各種大会等の成績

■西村山中学校新人総合体育大会(9月27日) 28日/西村山地区内各会場)

【団体戦/☆印は県南ブロック大会出場】

- 第2位
 - ▼男子剣道 ☆
 - ▼女子剣道 ☆
 - ▼女子バスケットボール ☆
 - 第3位
 - ▼男子バスケットボール
 - ▼男子卓球
- 【個人戦/掲載者はすべて県南ブロック大会出場】
- ▼男子卓球
 - 第1位 遠藤幹士
 - 第2位 阿部航瑠
 - 第5位 五十公野裕典
 - ▼女子卓球
 - 第5位 阿部愛美
 - ▼男子柔道
 - 第1位 佐竹真人 (55kg級)
 - 第2位 村山幸路 (50kg級)
 - ▼女子柔道
 - 第2位 海野美里 (57kg級)
 - ▼男子剣道
 - 第1位 志藤慶太

となりのリンゴさん (219) ホリイ



「ゆっくり大きくなればいい」
最上一平著

山も、木も、風も、川も、そして近所のじいちゃんや、ばあちゃんもみんな、ぼくらを見守っている。ゆっくり泣いて、いっぱいわらって、ゆっくり大きくなればいい。山あいの町の日常を、少年の視線でみずみずしく描く。



写真集 土門拳の「早稲田1937」 土門拳著

今年生誕100年となる戦後写真の巨匠土門拳の、実質的な処女写真集である「早稲田大学政治経済学部経済科卒業記念」を可能な限り忠実に再現したユニークな写真集。

町立図書館おすすめ 今月話題の本

- ▼デパートへ行こう/真保裕一
- ▼熱い風/小池真理子
- ▼元気でいてよ、R2-D2。/北村薫
- ▼巡礼/橋本治
- ▼水神 上下/帚木蓬生
- ▼あした咲く蕾/朱川湊人
- ▼遊びをせんと生れけむ/久世光彦
- ▼墨染の鎧 上下/火坂雅志
- ▼「逃亡者」折原一
- ▼長寿大国の虚構/出井康博
- ▼口は禍いの門/佐藤雅美
- ▼引き出しの中のラブレター/新堂冬樹
- ▼凶地反転/曾根圭介
- ▼凄い時代/堺屋太一
- ▼炎天/吉村昭
- ▼白い紙・サラム/シリン・ネザマフィ
- ▼THE ハプスブルク王家
- ▼MICHAEL 1958-2009/富原まさ江
- ▼ヘブン/川上未映子
- ▼小説サブプライム/落合信彦
- ▼フリーター、家を買う。/有川浩 ほか

ブックテーマコーナー 特集「手作りを楽しむ秋」

町に対する意見や要望、質問、提案などお待ちしております。
なお、無記名での投書に対しては、事実関係の確認が難しく、
回答できない場合もありますので、ご了承ください。

■あて先／〒990-1442 朝日町大字宮宿1115番地
朝日町役場 政策推進課 地域情報係
(電話：67-2112 ファックス：67-2117)

■メール／inform@town.asahi.yamagata.jp

町民の

声

**すばらしい景色の榎平の棚田
管理は大変ですが、ぜひ後世に伝えて！**

問 先日、町のホームページで「榎平の棚田」の写真を見つけました。私も棚田の写真を撮影したいと思いい、ちょうど水が引かれた頃と9月30日に訪れました。立派な棚田ですね。

棚田は維持管理が大変だとは思いますが、保存に力を注いでいただき、ぜひこのすばらしい景色を後世に伝えていただきたいと思いいます。「かかし祭り（コンクール）」などで多くの方

を引きつけるのもよいかと思いいいます。

【ホームページへの書き込み（東京都在住の方より）】

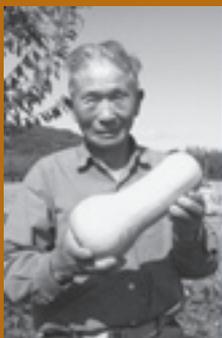
答 貴重なご意見ありがとうございます。榎平の棚田は地域で保全委員会を組織し、一般の方から募集した保全隊員の方々と一緒に、年間8回程度活動を行っています。

榎平は「日本の棚田百選」にも選ばれた景色のいい棚田ですが、米作りの効率性を考えれば、決して条件のいい場所とは言えません。棚田を保全することは歴史や文化を守ることにものつながら、その活動を継続することが棚田を守っていくことになると思っていますので、今後は保全活動だけでなく、ご提案にもあるようなイベント等も検討したいと思いいいます。

なお、保全隊員はどなたでもなることができますので、いろいろな方の参加をお待ちしています。

【榎平棚田保全委員会】

珍百景 ひょうたん型のかぼちゃ&あけび



川村實さん（真中）のお宅でこのほどひょうたん型のかぼちゃが実り、近所の話題になりました。

これは「バターナッツ・スクワッシュ」という名称のかぼちゃで、欧米ではごく一般的な食べ物。川村さんによれば、特に種をまいたわけでもないのに、今年突然生えてきて、7月下旬に初めて気付いた頃にはすでにこの形をしていたそうです。川村さんは「おそらく、（菜園の）近くに置いてあるコンポスター（生ごみ処理器）に寄ってきたカラスがどこからか種を持ってきたものと思いいいます。珍しいものだけに何か幸運もいっしょに運んできてくれるといいですね」と語っていました。



ちなみに川村さんのお宅では、実際食べてみたそうですが、普通のかぼちゃとほぼ同じ味だったそうです。

白田勇記さん（大谷六）のお宅ではひょうたん型のあけびが採れました。→



広報あさひまち8月号7頁「町政スポット」内「県消防協会西村山支部操法大会」の記事の中で、出場団員の氏名を誤って掲載してしまいました。

■訂正箇所…第2分団第2部
誤…「補欠…阿部真樹（さん）、同…向 賢司（さん）」
正…「補欠…鈴木 光（さん）、同…鈴木茂広（さん）」

広報あさひまち9月号14頁「まちの話題」内「中学生が人命救助 鶴岡警察署長より感謝状」の記事の中で阿部研太くんの氏名を誤って掲載してしまいました。

■訂正箇所…写真内の説明
誤…「左から 渡辺健くん、… 阿部健くん」
正…「左から 渡辺健くん、… 阿部研太くん」

お詫びと訂正 ご本人および関係各位の方々に心からお詫びを申し上げ、訂正させていただきます。



平成21年(2009年)
 ■ 9月1日～9月30日届出

すこやかに

区名	出生児氏名	性別	保護者名
松程	布施 <small>みのり</small>	女	哲也・千明
栗木沢	佐久間 <small>あや</small> 彩 <small>ね</small>	女	裕輔・奈保美
栗木沢	遠藤 <small>ぜん</small> 禅 <small>ぜん</small>	男	匠・あずさ
常盤	阿部 <small>ひ</small> 陽 <small>な</small> 菜	女	勝利・春美



おしあわせに

渡邊 國治 (大谷二)  前田 清美 (寒河江市)



やすらかに

区名	死亡者氏名	世帯主名
常盤	長岡 快	善司
大谷五	白田 曾代	重
太郎一	阿部 巖	光好
舟渡	川村 朝男	本人
明鏡荘	門脇 弥作	本人
前田沢	阿部 とくぢ	秀直
八ツ沼	鈴木 雅子	好一
夏草	阿部 賢一	まさ子
真中	鈴木 勝宏	廣子
西町	大久保 作次郎	きくゑ
新宿	熊谷 久子	昌彦
前田沢	阿部 春子	七四郎

掲載を希望しない方は、届け出の際にお申し付けください。

人口と世帯数

●平成21年9月30日現在

人口	8,253人	(-5)
男	4,095人	(-6)
女	4,158人	(+1)
世帯数	2,537世帯	(-1)
	()	内前月比
――― 9月中の異動 ―――		
出生	4人	転入 11人
死亡	12人	転出 8人



マーティ先生の

朝日町見聞録

町ALTMーティ先生が日々の生活の中で感じたことを自由に表現します。(文章も本人)

初のアメリカ旅行？

この間、妹の結婚式の為にアメリカに行きました。今までアメリカに行ったら、いつも両親の家で時間を過ごして、なんとなく「海外旅行」の感じはありませんでした。アメリカにいた時のレストランや遊んだ場所しか行かないので、「これがアメリカだ！」と感じたこともありませんでした。

でも今回は、アメリカのサンフランシスコに行きました。子どもの時は確かに行ったことあるはずだけど、まったく覚えていません。本当に初のアメリカ旅行だ！

やっぱり、アメリカは広いんですよ！サンフランシスコに行く前にインターネットの地図を見て、行きたい場所を決めながら、「そんなに遠くはないな～」と思ったけど、着いた後に、車を使っても距離はすごかったです。

料理の量も多いよ！多い！信じられないくらい多いですよ！朝、昼、夕食の量は日本より倍ぐらいです！いつも私と嫁さんがシェアして（分け合って）も時々残りました。もったいないと思いました。あとは、みんなはコーカ・コーラや飲み物をいつも飲んでいる。もしくはスター・バックスのコーヒーを飲んでいました。どうしてアメリカ人が太っているかって分かるようになりました！



弟(右)と2人で妹(中)を祝福しました

でも一番記憶に残ったことは、どこに行っても、アメリカ人はとても親切なこと。飛行機をすぐ降りた後に入国のお兄さんと会話をして、色んなことを聞きました。私の質問に全部答えてくれました。店の店員達も買い物しながら普通に喋っていました。前の人は、店のドアを必ず開けてくれて、そしてありがとう(thank you)を言った後に、どういたしまして(you're welcome)と返事が返ってきます。アメリカでは、自分よりも相手のことを気にします。

今年のハロウィンパーティーについて大事なお知らせ

今年は本来のハロウィンの日(10/31)が土曜日ですので、この日に気合を入れて開催する予定でしたが、インフルエンザの影響もあり、11月28日(土)に延期することにしました。みんなもう少し待ってね。詳しくは来月お知らせします。

CHECK IT OUT (あとで確認してね!)

わたしの作品



熊谷 留吉 さん
(前田沢)



「鯉彫り二匹」

(タテ約70cm×ヨコ約75cm)
※台座除く

私が彫刻を始めたのは、建築業を引退した6〜7年前頃です。絵は好きで若い頃に描いたことがありました。が、10年ほど前から再び描いています。

私の作品は「一枚板の櫂」を素材としているところが特徴です。幅が2尺(約60センチ)くらいになると探し出すのが大変ですが、それもまた楽しみの一つですね。

熊谷留吉「彫刻と絵画展」

- 期間 10月25日(日)まで
- 場所 創遊館ギャラリー

熊谷さんの力作約30点を展示しています。ぜひ足をお運びください。



手づくりの墨つぶねなども展示しています

どもを私一人で連れ出し(妻は仕事)、親戚の家や某町動物園に出かけ楽しく過ごしました。

しかし、大変なのはその後でした。いつもは午後のお昼寝タイムに突入するところですが、この日は全く寝る気配を見せない子どもたち。完全にお手上げ状態となり、悩んだ挙句、同じように一日中子どもを面倒を見ていた同級生の家に押しかけました。しばらく男2人で3人の子どもの面倒を見ていました。意外にも子育てトクに盛り上がり、あつという間に時間が過ぎていきました。T・Nくん、その節は本当にお世話さま!

佐久間 淳

春夏秋冬

編集後記

相次いだ
公的イベントの中止と
私的イベントの充実

この1カ月間、雨天や新型インフルエンザの影響により、ワインまつりやアップル駅伝などが次々に中止となりました。いずれのイベントに関しても、参加を予定していた方々やこれまで準備を重ねてきた方々にとっては、不可抗力とは言え残念な結果となりました。

広報担当としてもこの相次ぐ中止により、当初考えていた誌面構成の変更を余儀なくされ、記事の再配置に締め切り直前まで苦労しました。

しかし、私個人としてはイベントがなくなった分、家族と過ごす時間が増えました。10月の3連休のある日には午前中から二人の子